

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)	授業科目	英語の語彙・文法 (1)
科目基礎情報					
科目番号	0036		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般教科 (平成25年度以前入学生)		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	Start-up Course for the TOEIC Test (成美同)、英単語・熟語ダイアログ1200 (三省堂) / TOEICテスト新公式問題集 vol.1~5				
担当教員	林田 栄治				
到達目標					
1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 2. 授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を理解し、運用できるようになる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
到達目標1	TOEICの出題傾向、出題形式を把握し、解答時間も考慮しながら適切な対応ができる。		TOEICの出題傾向を把握し、各パートの問題形式に対応できる。		TOEICの出題傾向を把握しておらず、各パートの問題形式に対応できない。
到達目標2	授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の90%以上を暗記し、正しく運用できる。		授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の60%程度を暗記し、ほぼ正しく運用できる。		授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の暗記が60%未満で運用力が低い。
到達目標3	授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を90%以上理解し、正しく運用できる。		授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を60%程度理解し、ほぼ正しく運用できる。		授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文の理解が60%未満で運用力が低い。
到達目標4	TOEICスコア375点以上を獲得できる。		TOEICスコア300~375点を獲得できる。		TOEICスコア300点を獲得できない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	TOEIC実践形式の問題演習を通して語彙力、文法力、聴解力、読解力を総合的に向上させ、300~375点のTOEICスコアを達成する。また、ダイアログ式の単語・熟語集を用いて、単語や熟語を暗記し、適切に運用できるようになる。				
授業の進め方・方法					
注意点	1. 授業には辞書 (電子辞書可) を持参すること。 2. オリエンテーションで説明するやり阿多で十分予習・復習を行うこと。 3. 【重要】TOEICスコアを成績に含めるので前期に実施されるTOEICを必ず受験すること。(獲得スコアが300定位未満の場合、総合評価の「その他」の10点分が与えられない。)				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	授業の目的、自宅目標、学習方法を理解する。	
		2週	Unit 1	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。	
		3週	Unit 2	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。	
		4週	Unit 3	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。	
		5週	Unit 4	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。	

	6週	Unit 5	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
	7週	Unit 6	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
	8週	まとめと復習	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
2ndQ	9週	前期中間試験	
	10週	Unit 7	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
	11週	Unit 8	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
	12週	Unit 9	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
	13週	Unit 10	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
	14週	Unit 11	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
	15週	Unit 12	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。

